

超高層の死角 (1989)

TRAPPED

メディア 映画

ジャンル サスペンス

製作国 アメリカ

時間 92分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

科学工業のハイテクビルから出られなくなるマリアン（クインラン）とレニー。いつもの故障だろうと警備員室を訪れると無人。電話も不通、監視カメラも切られている。外部から完全に孤立したとき謎の殺人鬼がレニーを殺し、何とか逃げたマリアン一人きりになってしまう。恐怖に脅えながらビル内を歩く彼女の背後に、見知らぬ男ジョン（アボット）が……。 「ダイ・ハード」の犯人を「13日の金曜日」のジェイソンに置き換えたサスペンスを狙ったのだろうが（そうならいけば、どんなに良かっただろう！）、見せ方がなっていない。犯人の素姓はまだしも、いい意味でのルーティンをまるで踏んでないうえ、これは伏線かなと思いきや本筋と全く関係無し（かたや、張ったつもりだろう伏線は生かされてるわけじゃない）、といった具合に演出・脚本ともに駄目。話はジョン抜きで作ったほうが盛り上がった筈（アボット自体が悪いのではない）。

【クレジット】

監督	フレッド・ウォルトン	Fred Walton
製作	ロバート・T・スコーディス	Robert T. Skodis
	ジョセフ・ベロッチィ	Joseph Bellotti
製作総指揮	ジョン・エプスタイン	John Epstein
脚本	フレッド・ウォルトン	Fred Walton
	スティーヴ・フェケ	Steve Feke
撮影	ジョージ・コブラサ	Geroge Koblasa
編集	デヴィッド・バイロン・ロイド	David Byron Lloyd
音楽	スティーヴン・コーン	Stephen Cohn
出演	キャスリーン・クインラン	Kathleen Quinlan
	ブルース・アボット	Bruce Abbott
	ベン・ロギンス	Ben Loggins
	カティ・ボイヤー	Katy Boyer
	タイリース・アレン	Tyrees Allen
	ジュリアス・テノン	Julius Tennon